

ぼろメール

みんなの伝言板

〒534-0024 大阪市都島区東野田町1-5-26
 おおさかパルコープ 機関紙ぼろのタイム係
 eメールアドレス paltime@palcoop.or.jp

※いただいた声は「ぼろメール」や、商品案内・ホームページ、広報・宣伝活動で掲載させていただくことがあります。ご了承下さい。お預かりした個人情報にはプレゼントの発送やパルコープからの問い合わせ以外には使用いたしません。

命を再認識
 門真市 岸喜代子さん
 当たり前のように口にしていた、お肉、鶏、魚、何にでも命があったんだと再認識させられた記事でした。これからはもっともっと大切に扱ってほしいと反省しました。

子どもたちにも必要
 住之江区 大田尚美さん
 私が小学生の頃に、牛肉の解体の工場に遠足が何かで行った覚えがあります。とても衝撃的でしたが、残さず食べるようになり、好き嫌いもなくなりました。今の子どもたちにも、見学が必要だと思いました。

鴨せいろうも家で
 阿倍野区 辻 文美さん
 「若手鴨鍋セット」の新たな使い方を特集してくださり目がウロコでした。鴨せいろうなんて家で作れない、店で食べるものかと思っていました。今更に載っていたので、ぜひぜひやってみようと思います。

育てる仕事があつてこそ
 平野区 藤原幸子さん
 大変手間ひまのかかる牛を育てる仕事があつてこそ、私たちはおいしいものをいただくことができます。頑張れ！酪農家さん！牛肉大事に食べなきゃネ。



東浜店の弁当買ってます
 交野市 三重野定雄さん
 いつも東中浜店を利用しています。東中浜店の向かいにある事務所に勤務していますので、お昼休みによくパルコープさんのお弁当を買に行っています。お昼のお弁当がとてもおいしいです。これからもおいしいお弁当を提供してくださいね！

鴨苦手な私が
 阿倍野区 矢部恵子さん
 鴨料理は昨年までは苦手だった私ですが、生協さんの「若手鴨鍋セット」をいただいたてからは鴨が食べられるようになりました。今年も絶対に買おう！と思っていた矢先に鴨料理がたくさん掲載されたので、今年も鴨鍋以外にもチャレンジしてみようかと思っています。

拍手もんです
 枚方市 得能良江さん
 今回の鴨メニューはとても参考になりました。一通りためしてみたい。どれもおいしくでき、家族ハクシュもでした。次回はなにかな？楽しみです。

卵は誰が作っているの？
 住之江区 福井貴愛さん
 私の娘が最近、「鳥さんカワイイ？...卵は誰が作っているの？お肉は？」といういろいろ考えるようになった。質問されるたび、この記事のように説明はしていたものの、今いち実感が湧かず、わからないみたいでした。わざわざ写真を見せるのもどうかと悩んでいたの、今回の特集（モノクロ写真入）してくれたおかげで、ショックはあったようですが、子どもなりに何か感じるものがあったようです。

癒されます
 寝屋川市 谷口和江さん
 夫婦2人となり毎回注文する品も少なくなっているのですが、担当の方のいつも優しいいいない対応に癒されます。

僕は給食残さへん
 鶴見区 川端砂織さん
 今回は食べものと環境のことについて記事を読んだ。自分にも出来ることって何やろ？僕は給食残さへんことや！と頑張りました。

簡単朝ごはん
 平野区 瀬戸口優雅さん
 忙しい朝、冷凍のコーン・いんげんをのせて、チーズをのせた食パンを焼いて、保育園へ行く前の娘に食べさせています。チーズがよく食べてくれます。

專業主婦だって食べたい
 大東市 奥田淳子さん
 「来てみて。行ってみよ。パルコープのお店の東中浜店ってお惣菜の場があるんですね。アツアツご飯のサービスまであるなんて、スゴイです。近くにできないかなあ。サラリーマンだけなんてスライ！専業主婦だって、おいしいお弁当食べたい！

未永く、ずっと生協とつながって



いきいき昼食会

65歳以上の方を対象に、寝屋川、阿倍野、城東、仁和寺の4つの会場で月1回昼食会を開いています。お食事は組合員がボランティアで献立、調理する心のこもったものです。

敬老の日記念の城東の昼食会におじゃましました。



今回のお食事は沖縄料理で、敬老の日記念のこの日はお膳に筆で書かれた「祝の色紙と「おしながき」が添えられ、調理だけでなく、高齢者にお食事をいただく目にも楽しんでいただきたという昼食会を運営する組合員の思いが表れています。「城東の昼食会は食事、プラスアルファ何かの企画をします。例えば、ピアノ・ヴァイオリンの演奏や、今回のような歴史文化の勉強などをするなど、それが城東昼食会の特長なんです。もしネタが何もないときは生協の商品の話をしたり、参加者を楽しみ



問い合わせ先 組合員活動サポートセンター
 ☎0120-299-244
 いきいき昼食会各会場の予定は6ページをごらんください

にしてもうってます「敬老の日記念の当日は舟歌保存会の皆さんが「三十石舟」と「天満の子守唄」の歴史を面白く、歌と語りで披露。会場では大阪の昔の話を聞きながら、「つんつん、そうそう」と領く参加者の顔があちこちにありました。「今まで、生協をずっと利用してこれた方が、高齢者になり、家族が減り、商品利用も少なくなりました。でもずっと生協とはつながっていると思つてほしい」と生協を運営する組合員の思いも伺えました。あなたも「いきいき昼食会」の運営に参加してみませんか？

来てみて。行ってみよ。パルコープのお店



せっかくのキッチンと思つてもらえたら、ながお店のお弁当のご利用が口コミで広がっています。組合員さんなら「こんなお弁当できるの？」と気軽に声をかけていただけてます。子ども会やPTAの行事などでもたくさんのお弁当がいただけること、そんな時、頼りにしてください。「前回みたいに作ってほしいんだけ」というご要望もあります。そんな時大丈夫。一度ご利用いただくお弁当の内容、量、容器まで全てわかる「お弁当のカルテ」を作り、「見た目も味も以前のイメージを思つてご注文いただいた組合員さんに応えたい」と思っています。「もつとこのキッチン」と思つただけなら...」と思いが、担当の鮫島さんはお弁当を作ります。気軽に「こんなお弁当できるの？」と聞いてみてください。



ながお店の巻